

日本の伝統色、和の文様～あなたのためのお誂え～

教科書 P 6 4～6 5、8 8～8 9 資料集 P 1 4 8～1 5 1

売っている着物には大きく分けて「仕立て上がり」「仮絵羽」「お誂え」の3つがあります。

「仕立て上がり」とは既製服のこと。「仮絵羽」は仮縫い状態のことで、後から着る人に合わせて仕立て直しができる、セミオーダーを言います。そして「お誂え」とは、生地を買い、裁断から仕立てまで全て着る人に合わせて着物が作られる、フルオーダーのことです。白生地を買って、染めから全てを注文することもできます。

さて、皆さんは依頼人であり、着物を作る「和裁士」でもあります。生地を柄をデザインして、着物を作ってみましょう。

＜依頼書＞

依頼人氏名		◎◎ ◎◎	和裁士氏名		▽▽ ▽▽
色 日本の伝統色	① 茜色 ■	文様		①(和柄) 麻の葉 	
	② 白色 			②(自由) 松竹	
	③ 木賊色 ■			③(自由) 梅	
その他要望	すその色（足）を木賊色に				

＜受領書＞

麻の葉の模様の使い方、グラデーション、竹など私の期待以上の作りになっていてとても満足です。

麻の葉とittedだけで特に細かいことも注文していなかったのに、白いわくでかいているのに感動です。また、白ベースにすることで赤や緑の色が際立って美しく見えるのも良いです!!!

梅の花も赤の中に白色の花で幻想的で良いと思います。赤色のリボンが花を散りばめられていて、素敵です。

※ 生徒が作成したプリントを打ち直して掲載しています。